

令和6年度木曾地区水田作検討会を開催しました

○実施日 12月13日

○場 所 木曾合同庁舎 401 会議室

○内 容

12月13日木曾合同庁舎において、JA木曾、全農長野、長野県農業共済組合木曾支所、町村、関東農政局長野県拠点及び木曾農業農村支援センター等の関係機関が参集し、今年度の水田作の作柄、栽培上の課題について報告し、次年度に向けた技術対策について協議する水田作検討会を開催しました。

JA木曾から今年も1等米比率が低く、2等以下の格付けの主要因は、昨年度に引き続きカメムシによる斑点米であるとの報告がありました。

支援センターからは、今年度全農長野と連携して実施した「斑点米カメムシ類の適期2回防除試験」の結果から、2回防除の効果が確認できたこと、また水田内の雑草の繁茂により防除効果が低下することについて報告しました。

これらを受けて、木曾地区病害虫等防除組合の事務局をもつ農業共済組合から、今年度試験的に実施した斑点米カメムシ類の2回防除について、次年度から、斑点米の発生が多い中南部の町村において、本格的に受託する計画であるとの報告がありました。

次年度も木曾地区の水田作技術の向上を目指し、関係機関が連携して取り組むことについて意識統一ができました。



写真：令和6年度木曾地区水田作検討会